



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和6年度 第9号
2024. 9. 27

第61回誠樹祭。たくさんの感動をもらいました。

○ 開祭式／祭りが始まる高揚感。完成度の高い全校制作。個性が光ったクラブ。

<逃走中> 9/20(金)誠樹祭1日目は開祭式から始まりました。生徒会初の試みとして、動画での教室スタートとなりました。人気バラエティ「逃走中」さながら、生徒会長が人質に囚われ、校長、教頭扮するゲームマスターから出されたミッションをクリアしなければ解放しないという設定で、各クラスが風船の有りかを示されたクイズを解いて絆の証としての風船をもって体育館に集合するというゲーム仕立てのストーリーでした。各クラスで力を結集させ14の風船が集まり、無事、生徒会長は解放され、誠樹祭がスタートしました。今どきの中学生らしい趣向を凝らした楽しい幕開けとなりました。私も黒スーツに黒マント、サングラスという出で立ちで出演し、教頭先生共々楽しませてもらいました。



<全校制作> 続いて、全校制作の披露がありました。多数の応募作品の中から、3年生の生徒の作品が

選ばれました。1学期のうちに生徒一人一人が色塗りを行い、壁画実行委員の生徒が貼り合わせ、縦4m、横7mの巨大壁画に仕上がりました。種から生長した双葉を大事に両手で支え、その上に生徒会テーマ「創造」の文字がデザインされたものでした。今年1年の生徒会活動や誠樹祭を通して一人一人が大きく成長していこうという前向きなメッセージが伝わるものになっています。出来映えも素晴らしく、壁画の前で記念撮影をする保護者の姿もありました。卒業式まで本校のシンボルとして体育館を彩ることになります。皆さんの団結の象徴としてこれからも大切にしていきたいですね。



<クラスパフォーマンス> 壁画の披露に続いて、クラスパフォーマンスの発表が行われました。こちら

も今年初めての試みとなりました。「制限時間2分」、「クラス全員が出演する」、「誠樹祭に懸ける思いを自由に表現」という条件で行いました。アルゴリズム体操、サイリウムダンス、クラスあるある、学園祭テーマ曲の合奏・・・など、各クラスの個性が際立ち、祭りの始まりにふさわしい高揚感が感じられ、とても楽しい時間になりました。



○ 文化の部I／学年合唱。学級合唱。質の高い発表で聞く人の心を引きつけました。

<学年合唱> 文化の部は1年生の学年合唱から始まりました。昨年度までの学年演劇から学年合唱、学級合唱に内容を新しくした1年目となりました。学年合唱は、いずれの学年もとても素晴らしい出来映えでした。150人近い生徒の声の厚み、迫力が予想以上に聞く者の心に迫ってきました。みんなの心が一つになったときのエネルギーの大きさを改めて感じました。「これが全校合唱という形で表現されたらどんなにすごいことになるんだろう。ぜひとも全校合唱を見てみたい」と思わずにはいられませんでした。

<学級合唱> 学級合唱については、ここ数年コロナで合唱祭が中止・縮小されていたこともあり、1年生だけでなく2・3年生にとっても初めての取組となりました。各学級とも1学期に選曲や音取りを行い、苦勞しながらも担任の先生と一緒に作り上げ、本番を迎えました。本番では、どの学級も緊張した面持ちの中、練習の成果を発揮すべく、精一杯の表現が出来ていたと思います。学年合唱に比べ、一人一人にかかる責任が増すため、プレッシャーは大きいものだったと思いますが、そのプレッシャーと闘いながら歌い切ったことに大きな価値があると思います。強弱の表現の工夫等、努力の跡が感じられる発表がたくさんあり、取組の成果が十分に感じられました。学級の仲間を互いに信頼し合って歌っている様子がひしひしと伝わってきました。「合唱が双中の新しい伝統になる」、そんな期待感を抱かせる発表でした。



○ 文化の部2／吹奏楽部:完成度の高い発表。科学部:日頃の成果を感じました。

<吹奏楽部> 吹奏楽部の発表は、今夏の県吹奏楽コンクールで金賞を受賞した「スプリングフィールド」の優雅な調べから始まりました。各楽器の音色が見事に重なり合い、タイトルにふさわしい春の野の様子が浮かんできました。続けて、「第ゼロ感」、「ルパン3世」と続き、アンコール曲を含む、全4曲を見事に演奏し切りました。途中、何人かの生徒が立ち上がり、曲に合わせてタオルを回すなど、コンサート会場のような熱気と一体感に包まれました。緊張感のあるとても良い演奏でした。吹奏楽部の皆さん、ありがとうございました。



<科学部> 続けて、科学部の発表がありました。今年の科学部は、学校農園で何種類もの野菜を栽培・



収穫したり、夏休みには星空観察会や科学教室を開いたりなど、去年にも増して活発な活動を行ってきました。そのため、誠樹祭での発表も楽しみにしていました。当日は、校内の植物観察と生活に身近な科学実験の2本立ての発表となりました。どちらの担当の生徒も一生懸命に説明や実験を行っている姿が印象的でした。リハーサルを重ねてきたことが想像できるとともに、科学を愛している様子が伝わってきました。

○ 体育部門／一生懸命な姿・楽しい笑顔にあふれました。

9/21(土)には体育の部が開催されました。開会式では、実行委員長のあいさつに始まり、生徒代表の力強い選手宣誓、そして、実行委員の呼びかけに応える全校生徒の「おーっ」のかけ声で、華々しく体育の部は始まりました。連日の猛暑の中での取組となり生徒の皆さんはとても大変だったと思います、当日は、どの種目においても、一人一人が一生懸命に取り組む姿が至る所で見られました。学級の仲間を応援する姿、学年を超えて声援を送る姿、喜びを分かち合う姿、拍手、笑顔、歓声など、普段の学校生活では見られない躍動し、輝く姿をたくさん見ることができました。本当に美しい姿でした。生徒の皆さんの笑顔がグラウンドいっぱいにはじけました。





○ 全校ソーラン／圧巻の演技。双中が一つになりました。

伝統の「ソーラン節」。法被姿に身を包んだソーラン隊の凛々しい演舞の後、実行委員長のかけ声のもと、全校生徒が一つになってソーラン節を踊りました。446名による「どっこいしょ、どっこいしょ」、「ソーラン、ソーラン」のかけ声は大迫力で、全員が動きを揃えて演じる様子は、一つの生き物にも見え、圧巻でした。双中が一つになったことを強く感じました。伝統のバトンは確かに引き継がれました。会場の保護者の方からも大きな拍手が送られました。



○ 閉祭式／フィナーレは華やかに、そして静かに。



閉祭式では体育部門の成績発表と表彰を行いました。結果は、1年生優勝5組、2年生優勝3組、3年生優勝1組となりました。順位にかかわらず、全ての学級が持てる力を尽くして得た結果です。皆さん一人一人が頑張った事実は結果によって色あせるものではありません。どの学級も誇りをもって良いと思います。その後、ゲームマスターが再び登場し、『誠樹祭を大・大・大成功させる』というミッションを見事クリアしたことを告げ、そのご褒美として、2日間の誠樹祭をまとめたスライドを生徒全員で鑑賞しました。一生懸命な姿、お茶目な姿、笑顔・・・が映し出され、大いに盛り上がりました。その後、学年代表生徒による感想発表となり、締めくくりは生徒会長の熱い思いのこもった閉祭宣言。天井に吊した風船から舞い落ちるライラックの花びらが彩りを添えました。最後は、生徒会長の呼びかけに応え、全員で手をつなぎ肩を組んで大きな円を作り、お互いの頑張りを讃えました。こうして、第61回誠樹祭は華やかに、そして静かに幕を閉じました。

なんと素晴らしい2日間でした。たくさんの感動をありがとう。皆さんと一緒に時間を過ごせたことを本当に幸せに思います。



○ この経験を次のステージへ／「経験」という「点」を「成長」という確かな「線」に。



今週に入り、各学級で誠樹祭の振り返りアンケートや感想文を書いています。いくつか読ませていただきましたが、取組を通して学級の絆が強まっていったこと、協力することやお互いを思いやることの大切さ、周りの人への感謝など、多くのものを学んだ様子が見て取れました。とても貴重な経験となったと思います。皆さんは、これから通常の生活に戻りますが、一人一人が誠樹祭で学んだこと、得たことを整理し、日々の生活に生かしていくことが何よりも大切です。その積み重ねの中にこそ一人一人の成長があります。誠樹祭という一つの経験（「点」）を成長という確かな「線」にしてほしいと思います。誠樹祭で底力を見せた皆さんです。きっとできます。大いに期待しています。

○ たくさんのご参観ありがとうございました。子どもたちの大きな力となりました。

2日間で延べ881人（文化344人、体育537人）の保護者、ご家族の方に参観いただきました。その数の多さに驚いています。こんなにも多くの方に、子どもたちの頑張る姿や笑顔をたくさん見ていただくことができ、本当にうれしい限りです。

2学期に入ってからを振り返ると、連日の猛暑の中、肉体的にも精神的にもきつかったと思いますが、子どもたち一人一人は毎日一生懸命練習に励んでいました。本当によく頑張っていました。これも、各ご家庭のご理解と陰での支えがあつてのことと心より感謝しております。本当にありがとうございました。

また、さくら連絡網を通じて、昨日までに150件近い感想をお寄せいただきました。感想には子どもたちのことだけでなく職員のことにも触れてくださっているものもあり、心温まる内容が多く、改めて、保護者の皆様に支えられて学校があることを実感しています。私たち職員にとって何よりのエールとなります。同時に、観覧場所や駐車場、音響、実施時期、内容等についてもご意見をいただいています。職員の反省と合わせて来年度への参考にしたいと思います。

なお、当日ご覧いただけなかった開閉祭式、クラスパフォーマンス、他学年の合唱、吹奏楽部、科学部の発表は、明日から期間限定で配信します。ぜひご覧ください。感想の締切(9/30)までまだ数日あります。お時間がありましたら、ぜひ感想をお寄せください。いただいた感想から、幾つかを紹介します。



☆感動をありがとうございました。子どもたちも本気ですが、先生方が熱く勝負している姿にも感動しました。得意不得意がある中で、チームとして工夫をしてクラスみんなで勝負している姿に感無量でした。日々学園祭に向けて取り組み、対応していただきまして、先生方ありがとうございました。（1年保護者）

☆文化部門では学年合唱に感動して泣きそうになってしまいました。体育部門はどの学年も皆一生懸命で、笑顔溢れる姿が良かったです。また、先生方のお揃いのTシャツも団結力が感じられ、とても良かったです。子どもも帰ってきて「楽しかった～あ！」と、色々な話をしてくれました。先生方のご指導のおかげです。ありがとうございました。（1年保護者）

☆先生方、生徒会役員、生徒の皆さん、誠樹祭大大成功でしたね。観覧させていただきありがとうございました。保護者は基本的には我が子を支援応援するのみです。できることは洗濯とお弁当、学校からのお知らせをきちんと理解することくらいかな。笑。正直、先生方と生徒たちが羨ましかったです。生徒も先生も良い顔をしていました。体育祭で走っている先生の姿、チームワークを感じる背中「至誠」。先生方が素晴らしいから生徒も素晴らしいのだと感じます。子は親の鏡のように「生徒は先生の鏡」。構想、企画、準備、練習、団結。祭りは一人で頑張る出来事ではありません。人々の協力です。うちの子はこの誠樹祭を成し遂げ、心が変化したのを私は感じています。（2年保護者）

☆合唱のレベルが上がっていて驚きました。2年生になって男声の安定感が出てきたという理由だけではなく、声量も音程も格段に良くなっていて感動しました。体育の部も縦割りの応援など繋がりを感じられる良い雰囲気だったと思いました。本人に聞くと、劇から合唱になったことで取組期間の体力的な大変さは増したようですが、いろいろと考えると今年度の形が良いと思います。先生方は生徒以上に忙しい期間だったと思います。ご指導に感謝申し上げます。（2年保護者）

☆本当に暑い中、2日間お疲れ様でした。合唱とても良かったです。学年合唱もクラス合唱も素晴らしいものでした。一生懸命歌う姿に感動しました。たくさん練習したのだなと胸が熱くなりました。体育祭も盛り上がって、みんな一丸になってとても良かったです。綱引き面白かったです。全校ソーラン節は圧巻でした！素晴らしい2日間で、先生方の準備のお陰です。体育館へのクーラーもありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。（3年保護者）

☆文化祭、体育祭への準備等、先生方のご指導に感謝いたします。吹奏楽部の演奏は、各パートの音がしっかりと出ていて、あまりの盛大さ、迫力に感無量でした。こんなに素晴らしい演奏が仕上がることに驚きながら、ご指導いただいた先生方と生徒一人一人の努力に感心するばかりでした。また、合唱は、これだけのクラスの数からこんなに声が出るものかと驚きました。各パートしっかりと声が出ていました。総仕上げまでの努力は大変だったと思います！体育祭では、生徒一人一人が一生懸命取り組んでいて、声を出し、友達と喜び、また、悔しくて泣くこと、全てが素晴らしかったです！子どもたちの一生懸命に頑張る姿が親の励みになり、そのためには子どもたちが学べる環境を作ってあげること、協力することが大切なことだと感じました。ありがとうございました。（3年保護者）

